



MEJセミナー

有識者講演

AAIC Holdings Pte. Ltd. 代表パートナー／CEO 椿 進 様

アフターコロナ（AC）で世界はどう変わるか？ ～7つの本質的变化と2つの蓋然～

COVID-19の感染拡大は、リモートワークやオンラインサービスが伸びるという、表層的な現象だけではなく、**我々の価値観／社会構造／地政学／生き方**に至るまでに大きな変革を起こそうとしています。その**7つの本質的变化と2つの蓋然事象**について、椿様よりお話いただき今後の我々の指針およびチャンスを皆さんと探ってまいりたく存じます。

椿 進 様：ボストンコンサルティンググループ（BCG）、パートナー・マネージングダイレクターとして、事業戦略、M&A戦略、新事業立ち上げ、グローバル化等プロジェクトを実施。2006年より上場会社代表取締役役に就任。数社の社外取締役を歴任し、2008年に株式会社バンアジアパートナーズ（現AAIC）を創業。代表取締役社長／代表パートナー就任。2014年には日本初のアフリカ専用ファンドの組成にかかわり、運営を実施。執筆、講演多数。東京大学教養学部基礎科学第一学科卒。

日時：2020年6月26日（金）10:30-12:00 a.m.（日本時間）

お問い合わせ先

会議室情報

reg-event@me-jp.org

MEJ事務局セミナー担当



今般の特別セッションは、一般社団法人Medical Excellence JAPANの企業会員・フォーラム会員であれば、どなたでもご参加をいただけます。アーカイブ映像についても後日MEJ会員限定ホームページに掲載予定です。





開催日時：2020年6月10日（水）15:00-17:00（日本時間）

【講演セッション】15:05～16:30

提唱！新たな医療プラットフォーム「八王子モデル」

医療法人社団KNI理事長 北原 茂実 先生

“ポスト・コロナ”/“ウィズ・コロナ”、未知の世界で今、真に必要とされるものは何か？医療を中心としたプラットフォーム「八王子モデル」はその回答となりうるか？本モデルの発起人であり、規制概念にとらわれない先端医療システムの開発に取り組んで来られた北原先生が八王子モデルの実践と今後の可能性についてお話しします。

【事業マッチングセッション】16:40～16:55

ベトナム・プライベートホスピタル開設プロジェクト

株式会社KMSI事業統括 浜崎 千賀様

北原グループは、カンボジアでのサンライズジャパン病院の順調な立ち上げを経て、2017年にベトナムに進出しリハビリテーションサービスの構築を進めてきました。そしてポスト・コロナの今、「アジアリハビリテーションセンター」としてプライベートホスピタル開設に向け新たな局面を迎えています。本事業の内容や参画の可能性について事業統括 浜崎様からお話しいただきます。

お問い合わせ先

reg-event@me-jp.org

拠点支援担当 河合

ご参加登録

今般の特別セッションは、一般社団法人Medical Excellence JAPANの企業会員・フォーラム会員であれば、どなたでもご参加をいただけます。アーカイブ映像についても後日MEJ会員限定ホームページに掲載予定です。



次第

開催日時：2020年6月10日（水）15:00-17:00（日本時間）

1. 15:00～ 開会の挨拶
2. 15:05～ 提唱！新たなプラットフォーム「八王子モデル」
医療法人社団KNI理事長 北原 茂実 先生
3. 16:30～ 質疑応答
4. 16:40～ ベトナム・プライベートホスピタル開設プロジェクト
株式会社KMSI事業統括 浜崎 千賀様
5. 16:55～ 閉会の挨拶
MEJ理事長 近藤達也

*司会進行 MEJ事務局 主任 本田 祐子

Opportunities through the International Finance Institutions (IFIs)

The International Finance Institutions (IFIs), including the World Bank and regional development banks, are contributing \$200B to COVID-19 response projects in emerging markets over the next 15 months. These projects are urgently procuring significant amounts of medical devices and supplies, including intensive care unit and oxygen related equipment, laboratory equipment and supplies, personal protective equipment, and test kits. COVID-19 related tenders are being fast-tracked to ensure quick delivery.

This webinar will be led by Mr. Emilio Bunge, Managing Director of Development Finance International Inc. ® - DFI, which is a Washington DC-based consulting specialized in helping its clients participate in IFI projects and initiatives. During its founding nearly 3 decade ago, DFI has helped its clients secure over \$3.5B of IFI contracts and funding with clients such as Otsuka, BASF, Philips, Varian, Thermo Fisher, Global Health Innovation Technology (GHIT) Fund, among others.

The session will help MEJ members:

- Understand who the IFIs are and their role and significance
- Learn about sample COVID-19 opportunities and how are other global medical equipment suppliers positioning
- Define possible next steps and potential collaboration

Date and Time : Thursday, June 4th, 10:00-11:00 a.m. (JST)

CONTACT

reg-event@me-jp.org

MEJ Seminar

REGISTER

今般の特別セッションは、一般社団法人Medical Excellence JAPANの企業会員・フォーラム会員であれば、どなたでもご参加をいただけます。
アーカイブ映像についても後日MEJ会員限定ホームページに掲載予定です。

MEJセミナー

有識者講演

Development Finance International Inc., Managing Director, Mr. Emilio Bunge

COVID-19に対する世界銀行等 国際金融機関の対応と 日本企業のビジネスチャンスについて

世界銀行等、国際金融機関 International Finance Institutions (IFIs)は、COVID-19の拡大に対応し今後15ヶ月で新興国市場に対し、2千億ドルの拠出を発表しています。これらは主に、医療器具・医療資材の緊急調達に充てられるもので、集中治療ユニット、酸素供給関係の機器、ラボ機器、資材、感染防御資材、分析キット等を含んでいます。COVID-19に関わる入札は迅速な供給実現のため、簡素化された手続きで進められています。

本セミナーにご参加いただくことにより、MEJ会員の皆さまには以下のような成果が得られるものと考えております。

1. IFIs の役割とその重要性についての理解が深まる
2. COVID-19対応のビジネスチャンスの例、およびその他のグローバルな医療機器、資材調達の状況について明らかになる
3. COVID-19対応のビジネスチャンス実現のために、日本企業がとるべき対応が判明し、そのためのDFIとの協働の可能性が高まる

本セミナーは、米国ワシントンDCに本部をもつコンサルティング会社で民間企業の顧客がIFIs のプロジェクト・企画に参画することをお手伝いすることに特化した活動をおこなっているDevelopment Finance International Inc. (DFI)のManaging Director Emilio Bunge氏が行います。DFI については下記ご参照下さい。 (<https://www.dfintl.com/>)

DFIは創立以来約30年、顧客が合計で約35億ドルのIFIsとの契約締結を実現することをお手伝いしています。ヘルスケア分野の顧客には大塚ホールディングス株式会社、BASF、Philips、Varian、Thermo Fisher、Global Health Innovation Technology Fund (GHIT) などがあります。

※本講演は、英語講演となります。現法社員の皆さまのご参加もお待ちしております。

日時：2020年6月4日（木）10:00-11:00 a.m.（日本時間）

お問い合わせ先

ご参加登録

reg-event@me-jp.org

MEJ事務局セミナー担当

今般の特別セッションは、一般社団法人Medical Excellence JAPANの企業会員・フォーラム会員であれば、どなたでもご参加をいただけます。アーカイブ映像についても後日MEJ会員限定ホームページに掲載予定です。



有識者講演

Stop TB Partnership, Technical Advisor, Executive Director's Office 竹中 伸一 先生

Working with UN - lessons from the partnership between STBP and the private sector-

2019年11月に中国・湖北省にて発生が確認されたといわれるCOVID-19の感染拡大は、依然として世界各地で続いています。欧米先進国等での感染者の急増に伴い、ロックダウン（移動制限や都市封鎖）などの強硬措置が取られた影響が、世界中の人々の消費や生産活動のみならず、あらゆる産業領域に及んでいます。事実上の世界の「主要国」の経済が同時並行的に機能停止状態となる中、多くの国際機関が本部を置き、国連や世界保健機関等の非政府機関が国際貢献の拠点を置くスイス・ジュネーブで、諸外国の民間企業の商品・サービスの売り込み攻勢はどのように展開されているのか？ また、マラリア・結核・HIV/AIDSに代表される”三大感染症”の対策は、このコロナ禍においてどう進められているのか？

2019年春以来、Stop TB Partnership（STBP/ストップ結核パートナーシップ）の事務局長室付テクニカルアドバイザーとしてご活躍されている竹中先生より、日本企業が国際機関とパートナーシップを築く方法や情報収集についてなど詳しくお話しいただきます。

日時：2020年5月29日（金）5:00-6:00 p.m.（日本時間）

お問い合わせ先

ご参加登録

reg-event@me-jp.org
MEJ事務局セミナー担当

今般の特別セッションは、一般社団法人Medical Excellence JAPANの企業会員・フォーラム会員であれば、どなたでもご参加をいただけます。アーカイブ映像についても後日MEJ会員限定ホームページに掲載予定です。

WEBINAR



日中医療連携

Clinical Experience and Treatment of COVID-19

日 時 : 2020年5月29日 15:00-17:00 (日本時間)
Platform : DingTalk (釘釘)
言 語 : 日中通訳有、一部英語
申 込 : mejforum@me-jp.org



日本医療国際化機構
NIPPON GLOBAL MEDICAL ORGANIZATION





COVID-19の感染拡大に伴う日本でのマスク等医療物資の供給不足に対し、中国のアリババ公益基金会並びに馬雲公益基金会の会長の馬雲（ジャック・マー）氏が、日ごろ中国からの渡航受診者の受入れを行っているJIH推奨病院にマスクや防護服の寄贈したいと、一般社団法人 日本医療国際化機構を通して、寄贈いただきました。

また、馬雲氏は、中国国内の医療機関、各国の専門家たちとCOVID-19に関する知識や経験の共有、コミュニケーションの場としてのプラットフォームGMCCを立ち上げられ、浙江大学医学院附属第一病院での治療経験から「新型コロナウイルス感染対策ハンドブック」をまとめました。このハンドブックは、日本語版も作成され、JIH推奨病院に共有させていただきました。

そのような背景から、日本からも医療技術提供を行い、対等な日中の医療交流、連携に貢献したいと考え、ハンドブックの編集長でもある浙江大学医学院附属病院の梁廷波教授を中心とするGMCCメンバーとのCOVID-19に関する意見交換会を企画いたしました。

登壇者

日本側司会：MEJ理事 行岡哲男

症 例 報 告：COVID-19に対するECMO使用症例報告

順天堂大学 医学部 田中 裕 教授

筑波大学 医学医療系 井上貴昭 教授

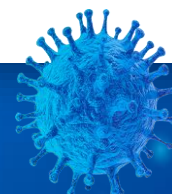
中国出席者：浙江大学医学院附属第一病院 梁廷波 教授、他



GMCC
Webサイト



新型コロナウイルス
感染対策ハンドブック
DWサイト





MExx構想 事業内容説明会

今年度の社員懇親会で示された“患者中心の合理的医療を通じて、各国と連携する活動”の一つ「MExx構築推進活動」についてのご理解を深めていただくために、説明会を開催いたします。本構想の推進にあたっては、東アジアの経済統合に資する政策研究および政策提言活動を実施することを目的として、東アジア16カ国の首脳の合意に基づき、2008年にインドネシア・ジャカルタに設立された東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）内に、MEXXプロジェクトチームが設置されます。**Senior Advisor to the President of ERIA（ERIA総長上級顧問）**として、国際保健分野において豊富なご経験と学識を持つ**中谷比呂樹先生**、**Senior Fellow（シニア・フェロー）**には、AseanPlus Consulting CEO、アジア大洋州地域における国際会合の外部委員としてもご活躍されている**町田史隆氏**がご就任される予定です。経済産業省様をはじめする日本政府からの強力な後援の下、医療界・産業界・官が一体となった組織の設置、共に発展していくためのプラットフォームの形成を各国に促してまいります。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2020年5月28日（木）10:30-11:30 a.m.（日本時間）

お問い合わせ先

ご参加登録

reg-event@me-jp.org

MEXX構築推進担当
（小林、本田、羅）

一般の特別セッションは、一般社団法人Medical Excellence JAPANの企業会員・フォーラム会員であれば、どなたでもご参加をいただけます。アーカイブ映像についても後日MEJ会員限定ホームページに掲載予定です。



式次第

1. **MExx構想について**
MEJ事務局 課長 MEXX構築推進担当 小林 光
2. **MExx構想の背景について**
経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課 課長補佐 佐々木 稔 様
3. **三方よしの国際保健に向かう日本企業：機会と可能性**
ERIA総長上級顧問（内定者）・慶應義塾大学特任教授 中谷 比呂樹 先生
4. **日本企業の医療ビジネス展開の観点からの考察（インド）および
MExx構想のプロジェクトチームの構成について**
AseanPlus Consulting CEO 町田 史隆 様
5. **閉会の辞**
MEJ理事長 近藤達也

*司会進行 MEJ事務局 主任 本田 祐子



有識者講演

医療法人社団KNI理事長 北原 茂実 先生

新型コロナ後の世界 我々は何を考えどう生きるべきか

北原先生は医療法人社団KNIとして国内に5施設経営され、開設当初より「世のため人のため、よりよい医療をより安く」「日本の医療を輸出産業に育てる」の2つを経営理念に掲げ、規制概念にとらわれない先端医療と医療システムの開発に取り組んで来られました。医療の国際展開のパイオニアとして、カンボジア、ベトナム等の海外へ「総合生活産業としての医療」を輸出するビジネスを牽引され、また本拠地である東京都八王子市では急速な少子高齢化や貧富の差の拡大で低迷する日本社会を救うべく、医療を中核とした新たなプラットフォーム「八王子モデル」の実現に向けて挑戦し続けています。

感染対策によって、リモートワーク、オンライン授業、遠隔医療といった社会変革が矢継ぎ早に実施され、今まさに新しい世界“ウィズ・コロナ”/“ポスト・コロナ”に突入しようとしています。予測がつかない未知の世界で、この不確実性に対処していくために、我々はどう思考し、生きるべきか。国内外の社会変化や経済への影響など、北原先生ならではの切り口でお話しいたします。

尚、当日は北原先生のご講演後に、MEJ 近藤理事長とのパネルディスカッションを予定いたします。

日時：2020年5月21日（木）1:30-2:30 p.m.（日本時間）

お問い合わせ先

ご参加登録

reg-event@me-jp.org

MEJ事務局セミナー担当

MEJセミナーは、一般社団法人Medical Excellence JAPANの企業会員・フォーラム会員であれば、どなたでも無料でご参加をいただけます。アーカイブ映像も随時MEJ会員限定ホームページに掲載予定です。

当面の間は、Web会議ソフト（ZOOM）を利用したオンラインセミナーとして実施いたします。

MEJ理事長 近藤達也 特別講演

インフルエンザ・スペイン風邪・SARS ～感染症との戦いと考察～

世界中で5億人以上が感染し、死者数が最大で4,000万人ともいわれる1918年のインフルエンザ（スペイン風邪）のパンデミックなど、感染症はこれまでに多くの人類の命を奪ってきました。日本においても例外なく、このスペイン風邪の大流行により、一説には2,500万人が感染し、40万人以上が命を落としたともわれています。原因ウイルスが哺乳類の肺に強い障害を引き起こし、また呼吸器系に親和力（アフィニティ）のあるA/H1N1亜型だと判明したのは、大流行から79年後の1997年になってのことでした。2000年代に入ってから、SARS（重症急性呼吸器症候群）の出現、高病原性鳥インフルエンザウイルスの流行、新型コロナウイルス感染症の発生など、感染症は人々の生命を脅かし続けています。

このような感染症に対し、我々はどのような行動を取るべきか？

近藤理事長から、国立国際医療センター病院（NCGM）病院長時代の研究の一つ『スペイン風邪流行期間中の日本の軍隊における「流行性感冒」の検討』およびSARS発生時の対応など、感染症に関する経験と考察についてお話いたします。

日時：2020年5月14日（木）1:30-2:30 p.m.（日本時間）

お問い合わせ先

reg-event@me-jp.org

ご参加登録

MEJ事務局セミナー担当

MEJセミナーは、一般社団法人Medical Excellence JAPANの企業会員・フォーラム会員であれば、どなたでも無料でご参加をいただけます。アーカイブ映像も随時MEJ会員限定ホームページに掲載予定です。当面の間は、Web会議ソフト（ZOOM）を利用したオンラインセミナーとして実施いたします。

レギュラトリーサイエンス(RS)とは何か RSの実践とCOVID-19の考察

「レギュラトリーサイエンス (RS)」は、1987年に内山充博士により提唱されました。科学技術のもたらす成果を良いことも、悪いことも的確に予測する「評価科学」と、その上で、人間・社会との調整を実現する「行政科学 (適正規制科学)」の2つの要素からなるものと定義するとともに、そのお考えを、国内にとどまらず、国外に向けても発信されたことでも知られています。アカデミア・企業・規制当局にとって共通の、人類・社会に貢献を目指す「倫理的な科学・工学」とも称されるRSですが、その実践において、具体的なイメージはお持ちでしょうか？ RSの成り立ちからPMDAでの導入と実践、最近注目の事例をもとに近藤理事長がお話いたします。

日時：2020年4月30日（木）1:30-2:30 p.m.（日本時間）

お問い合わせ先

reg-event@me-jp.org

MEJセミナー事務局

ご参加登録

MEJセミナーは、一般社団法人 Medical Excellence JAPANの企業会員・フォーラム会員であれば、どなたでも無料でご参加をいただけます。アーカイブ映像も随時MEJ会員限定ホームページに掲載予定です。当面の間は、Web会議ソフト（ZOOM）を利用したオンラインセミナーとして実施いたします。



アフリカと日本の「感染症」に対する認識の違い ～最適なリスクコミュニケーションとは何か？～

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が全世界に拡大しています。国連アフリカ経済委員会（UNECA）は、アフリカでCOVID-19により少なくとも30万人が死亡し、2900万人が極度の貧困に陥る恐れがあるとして、1000億ドルの支援を諸外国に呼びかけました。アフリカ地域54カ国でこれまでに確認された感染者は2万人以下と、比較的抑制されている状態にあると言われているものの、世界保健機関（WHO）は、向こう3~6か月の間に1000万人まで増大すると警告しています。

人口増に伴う経済成長が見込まれることから、世界最後のフロンティアとして脚光を浴びてきたアフリカ大陸です。今後ビジネスや交流を再開していく上で、COVID-19を共通項として扱うために、我々日本人が考慮すべきポイントは？ 予防や流行時の対応・認識に、どのような違いがあるのか？ 杉下先生に詳しくお話いただきます。

日時：2020年4月28日（火） 11:00-12:00 a.m.（日本時間）

お問い合わせ先

ご参加登録

reg-event@me-jp.org

MEJセミナー事務局

MEJセミナーは、一般社団法人 Medical Excellence JAPANの企業会員・フォーラム会員であれば、どなたでも無料でご参加をいただけます。

アーカイブ映像も随時MEJ会員限定ホームページに掲載予定です。

当面の間は、Web会議ソフト（ZOOM）を利用したオンラインセミナーとして実施いたします。